

2016年4月8日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年12号)

リオ市内レブロン地区で銃撃戦が発生

当地主要紙「オ・グローボ」によれば、4月6日(水)午後9時頃レブロン地区の集合住宅付近で激しい銃撃戦が発生した模様です。

1 発生日時

4月6日(水)午後9時頃

2 発生場所

リオ市レブロン地区 クルザーダ・サン・セバスチアン集合住宅付近

3 発生状況

付近の住人によれば、上記日時場所において、複数の銃声が聞こえ、その後爆発音が聞こえたとのこと。銃声、爆発物の轟音等により、様々な憶測が流れているが、麻薬密売組織が同住宅内に侵入して銃撃戦に発展したとの意見もある。

なお、第23軍警察本部では、銃声があったことは認めているものの、麻薬組織との関わり合いについては公式に認めていない。

※ クルザーダ・サン・セバスチアン集合住宅については、1955年に貧困者向けの集合宅として建築されたもので、ラゴア地区に所在するピント・ファベラ(貧民街)からの移住者が多数とされています。最近では、住人の所得も向上してきている一方で、麻薬密売の流れは根強く残っているとも言われています。昨年から強盗事件や銃撃戦も発生しており、高級住宅街で比較的治安が良いとされるレブロン地区にあって、引き続き注意が必要な場所と言えます。

4 留意事項

- (1) 常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取りましょう。
- (2) 銃声を聞いた場合は可能な限り低い姿勢を取り、不用意に動かないようにしましょう。
- (3) 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず、素直に相手の要求に応じて下さい。